



とちぎ

PTA新聞

とちぎPTA新聞211号
栃木県PTA連合会
〒320-0066 宇都宮市駒生 1-1-6
栃木県教育会館内
TEL 028 (622) 2833
FAX 028 (622) 2834

—211号—



令和7年 鹿沼市立加園小学校 図書室

- 令和7年度 栃木県PTA連合会 副会長紹介
 - 第57回日本PTA関東ブロック大会 ながの大会
 - 栃木県教育委員会×栃木県PTA連合会 意見交換会
 - とちぎのこと知ってる？4つの " 県のシンボル "
- 県のシンボルが擬人化！？ シャベるシンボル登場！！—
～ヤシオツツジ編～



「県木 トチノキ」



「県鳥 オオルリ」



「県花 ヤシオツツジ」

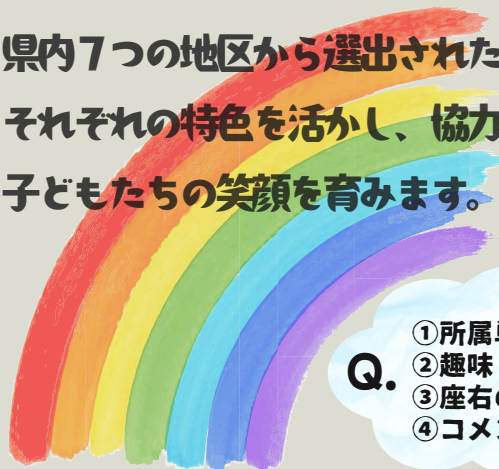
「県獣 カモシカ」



令和7年度 栃木県PTA連合会 副会長紹介

「なないろの想い」

県内7つの地区から選出された副会長たち。
それぞれの特色を活かし、協力し合って
子どもたちの笑顔を育みます。



- Q.
- ①所属単位PTA
 - ②趣味
 - ③座右の銘
 - ④コメント



河内地区
山本 和紀

- ①宇都宮市立宝木中学校
- ②ウォーキング
- ③和を以て貴しとなす
- ④名刺交換ではなく、子どものため学校のために活動する方々と出会うPTA。子どもたちがいるからPTAがあります。だからこそ大人の背中を見せるチャンス！子どもたちのために活動してまいります。



上都賀地区
揚石 達也

- ①日光市立足尾小中学校
- ②仕事、ドライブ
- ③一期一会
- ④PTAに関わり15年以上。県PTAの副会長としては4年目になります。時代の変化を如実に感じる昨今ですが、関わりのある全ての皆さんと共に、子どもたちのために頑張ります！



芳賀地区
ジョーンズ 純子

- ①茂木町立茂木中学校
- ②体を動かすこと
- ③笑う門には福来る
- ④日々の生活で嬉しい楽しいばかりではなく、つらい悲しいこともあるけれど、最終的には笑顔になれるように心がけているところ。子どもたちと一緒に楽しいことをするのがとにかく好きです！よろしくお願いします。



下都賀地区
田中 健

- ①小山市立乙女小学校
- ②音楽鑑賞
- ③ただ心こそ大事なれ
- ④未来を担う子どもたちの笑顔のために！子どもたちのために汗を流してくださるPTA会員の笑顔のために！今、何ができるか悩み、考え、全力で頑張ります！



塩谷南那須地区
井上 直樹

- ①さくら市立氏家中学校
- ②スキー、野球ボランティア
- ③こだわりの無いことがこだわり
- ④核家族化や多様性が進む今だからこそ、学校の良きパートナーとしてPTAの大切さは増していると思います。存在意義に見合うよう、自らが変わることを恐れずに取り組みます👍



那須地区
鈴木 哲也

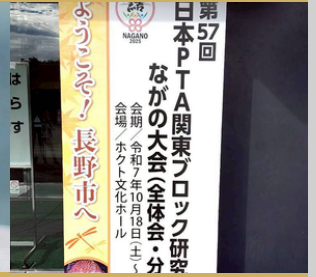
- ①那須町立東陽小学校
- ②見ての通り野球とたまにゴルフ
- ③迷ったら楽しそうな方を選ぶ。
- ④県北地区担当しております。子どもたちの笑顔のために1年目ですが皆さんと一緒に楽しく活動していきたいと思っております。よろしくお願いします。



安足地区
北岡 篤哉

- ①佐野市立南中学校
- ②ルービックキューブ
- ③いつも笑顔で楽しく
- ④「すべては子どもたちの笑顔のために」どんなことでも、みんなが笑顔で楽しめることが一番重要です。「どうせ無理」とは思わず「だったらこうしてみたら」とお互いが声をかけあい、「誰でも参加できる」楽しいPTA活動と一緒にやってまいりましょう！

第57回日本PTA関東ブロック研究大会



「結」笑顔で未来をつくる

～子どもと一緒にウェルビーイングの実現を信州から～

令和7年10月18日・19日の2日間にわたり長野県内4地区7会場で第57回日本PTA関東ブロック研究大会ながの大会が開催されました。1日目は7つの会場で分科会が行われ、2日目はホクトホールにて全体会が行われました。

第2分科会にて栃木市PTA連合会の取組が発表されました。

「学校・家庭・地域の協働によるPTA活動の推進」をテーマに発表させていただきました。参加された皆様との意見交換を通じて、改めて地域との連携の大切さを実感しました。また、本大会のテーマ「結（ゆい）～笑顔でみらいをつくる～」のもと、親子のウェルビーイング実現を意識した事例発表やパネルディスカッションを聴き、子どもをまんやかに据えた、ワクワクするPTA活動の重要性を改めて感じました。今後も、市P連の事務局として、より充実した持続的なPTA活動を支援していきたいと強く思いました。

栃木市PTA連合会事務局 大類 竜矢



分科会 家庭教育（健康・食育）

ホール全体で約200名程度の参加者で栃木県からは福田会長をはじめ10名程度が参加しました。分科会は、栃木市PTA連合会・大類竜矢氏の研究発表から始まり、NPO法人長野県食育協会の理事・田中雅子氏の講演、さらに須坂市立東中学校PTAの取組を上高井郡市PTA連合会会長・松峰昌男氏が発表しました。

最後に須坂市立東中学校の中学生2名を交えてパネルディスカッションが行われ、生徒が自作弁当を通じて、「いのちのありがたみ」や「親への感謝」を学びましたという発表が印象的でした。

副会長 鈴木 哲也



栃木県PTA連合会保障制度 (こども総合保険)

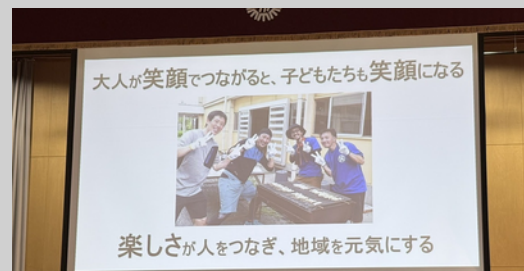
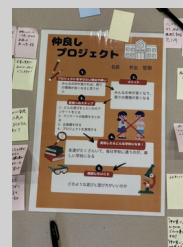
取扱店 AIG 損害保険株式会社

株式会社 栃木保険

TEL 028-643-6611 FAX 028-643-6566

分科会 地域連携

- 1.ポスターセッション『城山小学校6年生』
- 2.講演 みんなで繋ぐSMILE RING『茨城県高萩市 秋山コミュニティースクール』
 - ・親子野外宿泊会「夏休みダンボールハウス宿泊会」
 - ・ドラム缶風呂 夜の教室で肝試し ヤマメの掴み取り
- 3.牟礼小学校PTAの活動内容『長野県飯綱町立 牟礼小学校PTA』
地域からの働きかけにより、
 - ・大型車両の通行が多い道路への路面表示の設置
 - ・学校隣接道路に、建設業者による通学路路面表示の設置
 - ・横断歩道の整備が難しい通学路に、横断グリーンベルトを設置
- 4.パネルディスカッション
「幸せな学校とは」「子ども達が笑顔であるために」「それを実現させるために」
コーディネーター：酒井玲子 氏
パネリスト：伴美沙子 氏（教育委員会）：宮島 新 氏（城山小学校6年担任）
：黒岩潤也 氏（牟礼小学校PTA会長）



感想

地域との連携でのキモは『協力と楽しさ』であるとおっしゃっていました。地域の学校団体 保護者が協力して地域全体で子どもを育てることの大前提は、『やっている大人がみんな笑顔で楽しいこと！大人が笑顔でつながると子どもたちも笑顔になる！楽しさが人をつなぎ、地域を元気にする！子どもたちとは本気で関わっていくことが大切である』とおっしゃっていました。褒めることだけではなく、叱られたときや注意された時などあらゆる面からも、いつでも全力で子どもと向き合い心に寄り添うこ

とが何よりも大切なことではないかと思いました。本気で関わることで大人を信頼し、子どもたちの心の安定が図られていくことで、自分から何かを取り組んでみようという意欲ややる気を引き出せると今回の大会で再確認し、これからの自分の子育てや、PTAでの子ども達との関わりで活かしていきたいと思いました。そして子どものそばにいる大人は、常に子どもと共に生きて笑顔を忘れず、一人の人間を作っているという意識を持ちながら関わる必要があると感じました。

情報発信委員会 副委員長 渡邊 恭子

全体会

一堂に会する全体会。栃木県からは30名近いメンバーで参加しました。長野県副知事をはじめ多くのご来賓をお迎えしての開会式。研究発表では「居心地の良い」PTA活動の条件をテーマに長野市立山王小学校の添谷芳久氏より発表がありました。

「ウェルビーイングジュニアサミット」を県内外の中学校で実施し、参加した代表3校の生徒会役員が登壇し、堂々とした意見交換がされました。「子どもたちと地域のウェルビーイングの実現に向けて」と称し、PTAがどれだけ児童生徒を理解しているか？と問題提起。登壇した3名の生徒や武田教育長から非常に感慨深い話を聞くことができました。

基調講演として、放送作家野々村友紀子氏が登場しました。「強く生きるためのヒント」と題して日々の生活や子育てに役立つヒントを明るく楽しくお話しいただきました。

今回のながの大会は、児童生徒の活躍の場を設定して、参加者が児童生徒とも関わりを持つという、新しい試みがありました。参加者もたくさんの刺激を受けた大会でした。

最後は関東ブロックの各協議会で会長としてご尽力された方への感謝状贈呈式が行われ、昨年までの本会の会長を務められた揚石哲司氏が代表で感謝状を受け取りました。ながの大会では、有意義な時間を共有できた機会に感謝申し上げます。

副会長 山本 和紀



栃木県PTA活動補償制度

PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険

栃木県 PTA 活動補償制度は、PTA 行事参加中の万一のおケガや賠償責任に備え、安心して PTA 行事に専念していただくための制度です。

制度の詳細につきましては、学校に配布されている「栃木県 PTA 活動補償制度の手引き」をご確認いただくか、引受保険会社にお問い合わせください。

制度引受保険会社
AIG損害保険株式会社
宇都宮支店

宇都宮市松が峰1-3-15 2F
電話：028-346-4100
受付時間 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

D-008014 (2026-11)

栃木県教育委員会×栃木県PTA連合会 子どもたちの未来に向けた意見交換会

令和7年10月27日（月）栃木県庁南別館2階会議室において、栃木県教育委員会と栃木県PTA連合会の意見交換会が開催されました。

保護者の声を束ね、思いを託す

栃木県教育委員会中村教育長をはじめ県教委の皆様7名と県P連福田会長はじめ6名の総勢13名で、対面形式による意見交換を行いました。

“保護者の声”を事前に収集し13項目に分類した意見を、冊子にまとめ福田会長から中村教育長へ「率直な保護者の声です」と言葉を添え手渡しました。お渡しした冊子の中の2項目「不登校の対応」についてと「教育環境の整備」についてをテーマに意見を交わしました。

子どもたちの居場所を考える

1つ目のテーマは「不登校の対応」について、県教委より令和6年度の栃木県内の状況を報告していただきました。また、別室登校、多様な学び場、不登校のお子様を持つ保護者の支援方法と推進について意見交換を行いました。

学びの環境をより良くするために

2つ目のテーマ「教育環境の整備」においては、子どもの健康面にも大きく影響する、体育館の空調設備や給食費補助の国や県からの拡充について、そして教職員の配置について深く切り込んだ内容にまで及びました。

教育行政と保護者をつなぐ架け橋

1名・1校・1市町という単位だけでなく、県内全域から保護者の意見を集めることができる、県PTAのスケールメリットを存分に活かした、有意義な会でした。

単位PTAに所属する会員の皆様お一人おひとりの意見を市町に、そして県に、ひいては国につなげる大切な役目をもつ機関、それが栃木県PTA連合会です。教育行政を動かすのは皆様の意見です。

引き続き、市町のPTAとの連携を図り、皆様の意見を大切にしながら愛する子どもたちの幸せな成長を願って活動して参ります。

副会長 山本 和紀



『保護者の声』を束ねた冊子を福田会長から中村教育長へ。思いを託す瞬間。



『保護者の声』をもとに、教育委員会とPTAが向き合う意見交換会。

栃木県PTA連合会保障制度

～こども総合保険～

- ・県PTA連合会が毎年保護者にご案内している大切なお子さまのための保障制度です。
- ・お申込みは毎年3月です。パンフレット（ご案内書・お申込書類一式）は3月に学校から配布されます。
- ・詳細につきましては引受保険会社又は、代理店に連絡ください。



2025年10月現在の内容です。

制度引受保険会社
AIG損害保険株式会社 宇都宮支店
電話：028-346-4100

取扱代理店
株式会社 栃木保険
電話：028-643-6611
受付時間 9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始を除く）
（承認番号23-0006 2026-11）

とちぎのこと知ってる？ "県の4つのシンボル"

けんか 県花「やしおつつじ」ってどんな花？



特徴

ツツジ科ツツジ属の落葉低木（高さ1～2mに成長）アカヤシオ、シロヤシオ、ムラサキヤシオの種がある。花は漏斗状で5～6cm、枝先に数輪が集まって4月から5月の春に咲く。葉は同時または後に展開し、楕円で柔らかい毛がある。山地や丘陵地の明るい森林、岩場、草原に自生。主に本州（東北～関東）の山地に分布。

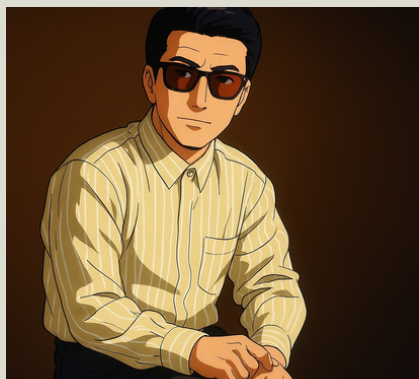


県のシンボル

郷土愛と郷土意識を高めるとともに昭和45年に開催された日本万国博覧会を記念して1970年10月1日に選定。栃木県では那須高原、塩原、日光など中心に、県中央や南部の山地にも広く分布している。栃木県の古名である「野州」が転訛してやしおつつじと名付けられた説があります。

しゃべるシンボル登場！！

「涙も笑いも、子どもと分かち合う」感情満開 人情派おっちゃん



◆名前：やしおつつじん

🔥性格：熱血・情に厚い・涙もろい・ツッコミ強め2児の父。

👄口ぐせ：「子どもが...やっぱ好きやねん！」
「子どもってな、感じとるねん！」
「そやけどワシは信じてんねんで！」

💡名言 & 😂迷言集

💡名言：「"がんばれ"より"見てたで"って言うてあげてや。」

💬注釈：子どもは評価より共感で育つんや！。

💡名言：「涙が出るってことはな、心が動いた証拠や！」

💬注釈：すぐ泣く自分を、全力で肯定するスタイル。

💡名言：「怒るんやない、響かせるんや。」

💬注釈：怒ると叱るの違いをちゃんと持つとる父性視点。

😂迷言：「言うたかて、家で怒鳴り散らしてるワシが言うことちゃうけどな！」

💬注釈：自己ツッコミ型の自戒。

😂迷言：「アカン！参観日のプリントなくしたの、子どもやなくてワシやったわ...泣」

💬注釈：自分のボンコツに涙する大人の鑑。